

やはば

議会だよ

230

2024.10.25

岩手県
矢巾町議会



予算決算常任委員会で審議

令和5年度 町の家計簿をチェック… 4～7

町政を問う

12名の議員が一般質問 …………… 11～22

特別委員会を設置

議会改革への一歩踏み出す …………… 23

煙山保育園運動会

～雨にも負けず元気な子どもたち～

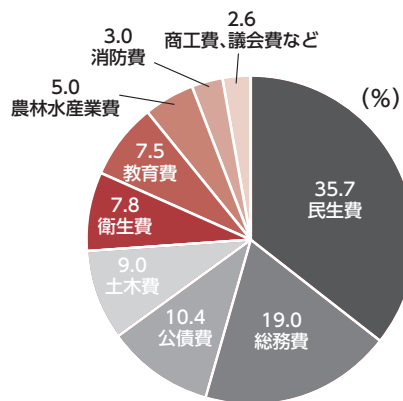
(関連記事…P24)

過去の議案書などは
町議会ホームページ
に掲載中

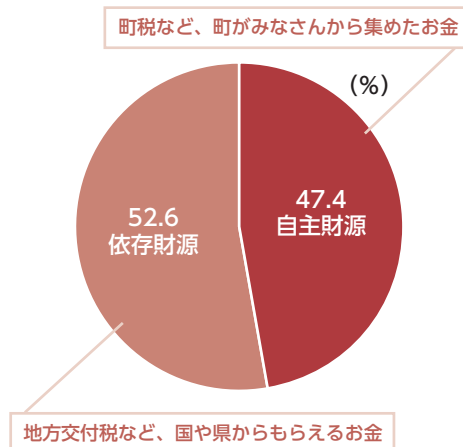


一般会計の決算状況

使ったお金（歳出）
121億6,666万円



入ってきたお金（歳入）
127億8,421万円



令和5年度の重点施策を振り返る

アプリ開発運用

町は住民総合ポータルアプリ「やはナビ!」を開発。令和5年12月から運用が開始されました。また、町ホームページも同時にリニューアルされ、情報サービスの多様化に対応し、行政と町民が双方向にコミュニケーション可能となるよう、環境整備に取り組みました。

物価高騰支援

令和5年度は、物価高騰対策の拡充が求められた年でもありました。

町は、住民税非課税世帯や生活困窮世帯、子育て世帯に対する給付金の給付に取り組みました。また、町内児童福祉施設や農業者、中小企業などに対しても、物価高騰の影響を受けている状況を踏まえ、支援しました。

町営住宅補修



屋根の修繕を終えた三堤住宅1号棟

町が管理している11団地町営住宅242戸を適正に維持管理するため、小破修繕や修繕工事が行われたほか、三堤住宅1号棟の屋根改修工事が行われました。

徳丹城整備

史跡徳丹城跡の整備も進められ、工房表示跡の遺構平面表示や車止めの設置、芝生の植栽が行われました。

また、町歴史民俗資料館の照明をLED化したことで照明が明るくなり、展示が確認しやすくなったほか、消費電力の効果的な削減により、温室効果ガス削減や維持経費削減にもつながりました。



整備が進んでいる徳丹城跡

特別会計・水道下水道事業会計の決算状況

(円)

決算の詳細は

令和5年度決算の詳細は、
矢巾町ホームページに掲載さ
れています。
こちらのQRコードからご
覧ください。



			収入額	支出額
特別会計	国民健康保険事業会計		2,733,910,497	2,700,302,500
	介護保険事業会計		2,710,264,155	2,377,588,880
	後期高齢者医療会計		285,652,250	282,243,840
企業会計	水道事業会計		収益的	904,606,003
			資本的	73,886,816
	下水道事業会計	公共下水道事業	収益的	831,038,694
			資本的	251,938,330
		農業集落排水事業	収益的	315,614,096
			資本的	51,080,000

令和5年度決算状況を

監査委員はこう見る



たかはしのりやす
高橋憲康代表監査委員

町税収納率

高い水準を維持

自主財源のうち大きな割合を占める町税は、40億2,846万円で、前年度と比べ1億3,457万円増加しています。これは、住宅地の大規模開発に伴う所得増や、新型コロナウイルス感染症が5類感染症へ移行となったことによる企業活動の活性化、固定資産税の大口滞納の解消などが要因であり、町税の収納率は99.2%と高い水準が維持されています。

特別会計

滞納解消を望む

3つの特別会計の単年度収支は1億3,938万円の赤字でした。また、不納欠損額は30万円で前年度と比べて124万円減少しました。しかし、収入未済額は4,507万円で前年度と比べ134万円の増加となりました。滞納解消に向けたさらなる取り組みを望みます。

水道・下水道事業

水道事業は、毎年黒字決算が持続され健全に経営されています。全国に先駆けて導入した水道サポーター制度の充実を図り、より質の高い安全安心な水の提供ができる経営の継続を期待します。

下水道事業は、今後も財政状況に応じて将来を見据えた安定的な経営に努め、適切な

高橋 憲康 代表監査委員
沼田 由子 監査委員

施設維持管理を図り、使用料改定などの検討も視野に入れながら持続可能な事業構築が図られることを期待します。

財政健全化と

経営健全化は

健全化判断比率は、昨年に比べ減少しておりますが、県内市町村平均と比べると高い水準が続いています。

また、公営企業会計において、資金不足は生じておらず、今後とも経営計画などに基づき、健全な経営を望みます。

健全な財政運営を

中長期的な財政見直しの計画のもと限られた財源の中で、効率的かつ効果的な行政運営を推進するとともに、町債発行規模の適正化、投資的経費および公債費の平準化を図り、健全な財政運営を望みます。

町の家計簿をしっかりとチェック！

一般会計

広報

やはナビ！の普及

質問 ポータルアプリ「やはナビ」のダウンロード数は。

回答 令和6年8月末時点で、iOSが632、Androidが557である。

質問 町民誰もが使えるよう、講習会の開催などをもっと強化すべきではないか。

回答 今後もスマホの使い方教室などさまざまな機会をとらえ、アプリの普及啓発を図る。



コミュニティ

防犯灯の設置

質問 自治会から要望があった明るさの確保が求められる場所に、防犯灯が適切に設置されているか。

回答 町内の防犯灯は、令和5年度末でおよそ1,530基設置しており、このうち1,200基余りがLED化されている。

質問 通学路で防犯灯が必要



真剣に講習会に臨む町の防災士

な場所と、自治会の要望や費用負担ができるかどうかの状況を把握して対応されているのか。

回答 町は2分の1補助であるため、自治会側も半額の費用負担が生じる点で課題はあるが、必要な場所に適切に設置できるよう今後も調整を図っていく。

質問 自治体での負担が大きいことから、地域企業に対し社名入り防犯灯設置の募集をしては。

回答 現在積極的な働きかけはできていないが、地域企業とつながりを持ちながら検討する。

防災

防災士の養成

質問 本町で防災士養成講座を受講した方の人数は。

また、今後も継続して防災士を増やしていく考えか。

回答 令和5年度の受講者は19名で、全員合格している。

防災士も世代交代を図っていく必要があることから、今後も養成を継続していきたい。

財政

納税の意識

質問 税の滞納理由として生活困窮や納税意識の希薄など何らかの事情があるにしても、町として何か対策はされているか。

回答 国民の義務として納税意識を持つていただくことが重要と捉えており、滞納者に対しては督促状や催告などで通知し、自ら義務を果たしていただくよう、気づきを促している。



悠和荘での防災避難訓練

農 業

農業者年金の加入

質問 農業者年金の加入促進の状況は。

回答 若手の認定農業者の方やそのご家族の方々に、農業者年金の加入メリットを伝え、積極的な加入促進を図っている。

農家への支援

質問 畜産農家緊急支援事業給付金では、どの程度の支援ができたのか。

回答 令和5年度は35農家・1法人に対して計225万5千円の支援を行い、飼料高騰などの影響を受けた畜産農家の経済的負担の軽減を図った。

質問 6次産業化推進事業補助金の概要と実績は。

回答 町内に住所を有する認定農業者や集落営農組織などを対象に、農産物を確保するために必要な施設や商品の創出、PRなどにかかる経費などを補助する仕組み。

令和5年度は煙山地区の農業者に対し、新商品のレシピ開発、パッケージデザイン、PR費用などの補助を行った。



産業・観光

町の特産品事業

質問 特産品事業で、広告料10万円とあるが、どのような形で宣伝されたのか。また、効果をどのように考えているか。

回答 広域の取り組みとして盛岡広域エリア観光バスポートでの宣伝を行った。町単独ではなく、広域的に観光を推進する取り組みが今後も必要と考えている。

ふるさと納税の返礼品

質問 葛巻町と協定を結んだ、ふるさと納税返礼品の取り組み状況は。

回答 ハンバーグの食べ比べセットなど、現在30種類ほどの共通返礼品に取り組んでいる。今後も、別の市町村とも協力した返礼品事業に取り組みたい。

道 路

町道の草木管理

質問 町道における街路樹や、雑草が生い茂り見通しが悪い場所などについて、町民からの申し出はあるのか。

回答 町民の方々から、枝や草が伸びているなどのお声は多数いただいており、順次対応しているところである。



除雪の状況

質問 昨年度の除雪回数は18回であるが、一番出動した路線はどこか。

また、例えば学校付近の歩道などは雪が踏み固められ、夕方になると凍って滑る。歩道の除雪にも配慮すべきでは。

回答 町の西側で、主に山側への出動が多かった。また、歩道の除雪についてはパトロールなども行いながら対応していく。

水 道

管路耐震化の状況

質問 町の管路耐震化の状況は、近隣と比べてどうか。

回答 基幹管路の耐震適合率は全国平均41.2%に比べ、町は47.5%である。近隣と比較すれば、盛岡市は70.6%、岩手中部は64.4%と矢巾町よりも高い。今後も、順次計画的に耐震化を進めていく。



今年も安全に出動を

町の家計簿をしっかりとチェック！

子育て

産前産後の支援

質問 妊産婦医療費助成の対象者数は。また、所得制限は。

回答 令和5年度の対象者数は69人。所得制限は県の基準に準じ、妊娠5か月の方は、児童扶養手当の支給額の所得額プラス80万円を上限にしている。妊娠8か月の方からは所得制限はない。

質問 産後家事支援および産後ケア事業の実績は。

回答 産後家事支援事業は、計7名、延べ41件の利用。産後ケア事業は、延べ24組の利用。ホテルルートインおよび町国民保養センターの2か所を会場に、令和5年度から月2回の実施としている。



学童システム

質問 学童システムとは。

回答 子どもたちが入館、退館した時間を管理し、保護者に通知が届くシステムで、町内全ての児童館とキッズクラブに導入した。



健康長寿

健康チャレンジ

質問 健康チャレンジ事業の成果はどう捉えているか。

回答 令和5年度の参加者数は849名で、継続して運動に取り組むことで、参加者の健康が改善あるいは維持できている。

現在の老人クラブ

質問 町内の老人クラブで、現在も活動を行っているのは。

回答 令和5年度に活動を行ったのは29クラブである。

教育

国際交流の状況

質問 友好都市フリモントからの生徒受け入れによって町内にどのような効果があったと検証しているか。

回答 昨年4年ぶりにフリモントからの生徒を受け入れ、町内小中学校に訪問し交流した。また、本町に到着した際、やはばーくを会場にウエルカムセレモニーを開催しており、広く町民に、国際交流に興味を持っていただく機会とすることができている。

LED化の状況

質問 町立学校におけるLED化の状況は。

回答 令和5年度に煙山小学校および不動小学校の、体育館のLED化を行った。これに伴い、町内全学校施設のLED化が完了した。

給食の放射能検査

質問 学校給食の放射能検査



微笑む高橋昌造町長とフリモント町のトッド・ブレイク氏

の実施状況は。

回答 毎食、放射能測定を実施し、安全安心な給食の提供に努めている。

スポーツ

町体育館の利用増

質問 矢巾町体育館のランニングマシンを購入されたが、利用者増加は図られているのか。

回答 令和5年度に1台購入し、現在4台のランニングマ

シンが稼働している。トレーニング室の利用者は、令和3年度995人、令和4年度9,400人、令和5年度10,012人と推移しており、コロナ明けということもあるが、ランニングマシンが活用されているものと捉えている。



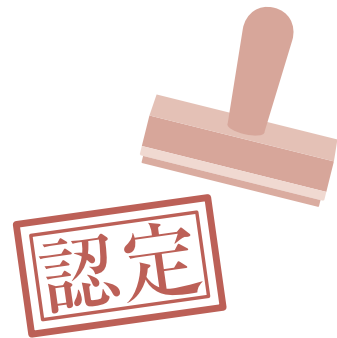
予算決算常任委員会

より良い執行を望み、 19項目の意見を付す

議長を除く議員 17 名で構成される予算決算常任委員会は、9 月 10 日から 18 日までの間、委員が 3 つの分科会に分かれ詳細な議論を交わしたり、町の政策を徹底的に審議したりしました。

その後、令和 5 年度の予算執行が「効果的・効率的に執行されたか」「住民の暮らしがどのように向上したか」を町に問い、浮き彫りになった課題に対し今後のより良い執行を望む意見を付けて議長に報告しました。（以下要約して掲載）

- 意見1** 友好都市フリモントへは、希望する多くの生徒の派遣を。
- 意見2** 町と町民の双方向からの情報発信を大切に。
- 意見3** やはナビの利用促進を。
- 意見4** ふるさと納税は工夫を行い、財源確保に努めて。
- 意見5** さまざまな少子化対策の実施を。
- 意見6** 若者の参加で町が活性化する活動の推進を。
- 意見7** 町民の往来や通学路などの安全確保を。
- 意見8** 自治公民館整備事業補助金の上限額見直しを。
- 意見9** ひきこもり、障がい者、高齢者の孤立、子どもの虐待など、複雑多様化する課題に積極的な取り組みを。
- 意見10** ハラスメント防止の啓蒙を。
- 意見11** 太陽光発電設備設置への補助や公共施設のLED化に続く、脱炭素化の計画的取り組みの実施を。
- 意見12** 水害対策となる田んぼダムの積極的な取り組み推進を。



- 意見13** さらなる有害鳥獣の被害防止対策の強化を。
- 意見14** 農商工共創センターの早期活用を推進を。
- 意見15** 特産品は食品以外の開発も行い、通年販売も視野に入れた取り組みを。
- 意見16** 町営住宅の在り方は地域住民も巻き込んだ議論の推進を。
- 意見17** 防災情報などは各情報発信ツールを活用し、もれなく配信される環境整備を。
- 意見18** 学校給食費完全無償化に向け、県や国への働きかけを含め早期実現の取り組みを。
- 意見19** 特定健康診査は、受診率 60% 以上を目標に周知徹底し、各種検診は高齢者なども簡単に予約でき、受診率向上につながる環境整備を。

令和5年度決算 討 論

表決に付される前に、令和 5 年度決算に対し、2 人の議員から賛成と反対の意見がありました。

賛成討論

村松 信一 議員

行政における不断の課題に対する取り組みは、町民の福祉・サービスの向上につながり、本町の更なる発展に資すると考える。

また、町職員が身近な職務に一生懸命取り組んでいる姿に接し、本町の明るい未来を感じ、日々の更なる努力が町発展に貢献するものと期待し、賛成とする。



反対討論

小川 文子 議員

令和 5 年度は、円安に続く物価高が町民に大きな影響を与えた。本町の財政は大変厳しいが、このような厳しい財政の中で、どう町民福祉を向上させるのか、また、農業をはじめとした産業振興をどう図っていくのか。新規事業をするにあたっては、しっかりと調査研究をするともに、中でも 1 億円を超えるような事業については慎重に検討することが求められる。

「最小の経費で最大の効果を出す」という原点に立ち返り町政運営を行う必要があることから、反対とする。

マイナンバーカードが保険証に 現行の保険証は令和6年12月から廃止

9月3日から20日までの20日間で開催した9月議会では、人事案件に同意したほか条例改正や一般会計補正予算などを慎重に審議し、すべての議案を原案のとおり可決しました。

9月会議

人事

人権擁護委員

任期3年間

阿部 江利子 さん

(新任・南矢幅2区)

任期3年間

菊池 由紀 さん

(新任・南矢幅8区)

教育委員

任期4年間

齊藤 学 さん

(再任・東徳田1区)

条例改正

国民健康保険 被保険者証の廃止

国民健康保険被保険者証が廃止され、マイナンバーカードが保険証（カードがない方は資格確認書で対応）となることから、国民健康保険条例の一部が改正となります。

補正予算

主な歳入

▽個人番号カード交付事務費補助金 197万7千円

▽デジタル基盤改革支援補助金 4,097万6千円

主な歳出

▽地域おこし協力隊起業支援補助金 100万円

▽システム標準化対応改修委託料 3,093万9千円

▽マイナンバーカード申請等支援事業委託料 197万円

▽各種任意予防接種委託料 253万6千円

主な質疑

【質問】マイナンバーカード申請等支援事業委託の内容は。

【回答】県行政書士会に委託し、行政書士が福祉施設などに出向き、申請の支援をする予定。

【質問】地域おこし協力隊員、任期終了後の起業内容は。

【回答】映像関係で、町内を拠点に行っていく予定。

【質問】各種任意予防接種の带状疱疹ワクチンについて、過去の接種実績と今後は。

【回答】令和5年度に接種完了した方は226人。今年度現時点で接種完了した方は203人。

現在、国では定期接種に向け効果的な接種対象者の年代などを検討している。今後の状況を注視していきたい。

氏名 ○○ ○○
住所 ○○○○○○○○○○○○○○○○○
○○年○○月○○日生 ○○年○○月○○日まで有効
電子証明書
の有効期限 年 月 日

みなさんからの 質問

みなし不採択 反対5人

現行の健康保険証とマイナンバーカードの両立を求める請願

【不採択理由】

国民健康保険被保険者証の廃止に伴う条例改正などの議案が可決されたことに相反する請願であるため、不採択とみなす。

採択 全会一致

ゆたかな学びの実現・教職員定数改善・義務教育費国庫負担制度負担率の引き上げをはかるための2025年度政府予算に係る意見書採択を求める請願

【採択理由】

国の施策として定数改善に向けた財源を保障し、子どもたちが全国のどこに住んでいても、教育格差が生じることなく一定水準の教育を受けられるべき。

各議案の採決状況

令和6年定例会7月会議

議案番号	提出議案	議員名																採決結果
		高橋恵	高橋敬太	横澤駿一	ササキマサヒロ	吉田喜博	藤原信悦	齊藤勝浩	小川文子	木村豊	小笠原佳子	山本好章	高橋安子	水本淳一	村松信一	昆秀一	赤丸秀雄	
議案第69号	令和6年度矢巾町一般会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可

令和6年定例会9月会議

諮問第4号	人権擁護委員の推薦	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
諮問第5号	人権擁護委員の推薦	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
議案第70号	教育委員会委員の任命	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
議案第71号	岩手県後期高齢者医療広域連合規約の一部変更	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	●	○	可
議案第72号	矢巾町国民健康保険条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	●	○	可
議案第73号	町道路線の廃止	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案第74号	町道路線の認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案第75号	令和6年度矢巾町一般会計補正予算(第4号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案第76号	令和6年度矢巾町国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案第77号	令和6年度矢巾町介護保険事業特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案第78号	令和6年度矢巾町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案第79号	令和6年度矢巾町水道事業会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案第80号	令和6年度矢巾町下水道事業会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案第81号	令和5年度矢巾町一般会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	認定
議案第82号	令和5年度矢巾町国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	認定
議案第83号	令和5年度矢巾町介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	認定
議案第84号	令和5年度矢巾町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	認定
議案第85号	令和5年度矢巾町水道事業会計決算認定	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	認定
議案第86号	令和5年度矢巾町水道事業会計未処分利益剰余金の処分	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	可
議案第87号	令和5年度矢巾町下水道事業会計決算認定	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	認定
議案第88号	令和5年度矢巾町下水道事業会計未処分利益剰余金の処分	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	可
議案第89号	町道谷地線交通安全施設整備その2工事請負契約の締結	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
発議案第3号	矢巾町議会基本条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
発議案第4号	議会のあり方調査検討特別委員会の設置	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
発議案第5号	教職員定数の改善及び義務教育費国庫負担制度拡充に係る意見書の提出	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可

○=原案に賛成 ●=原案に反対 欠=欠席 可=可決 否=否決 退=退席 注: 廣田清実議長は採決に加わらない。

ズバリ 町政を問う

一般質問

一般質問は、議員が執行機関に対して、町政全般にわたる執行状況や将来に対する方針などの諸問題について質問を行い、町の姿勢を明らかにするものです。9月会議では議員12人による一般質問が行われ、活発な議論が展開されました。掲載の質疑内容は、質問した議員の原稿によるものです。

●昆 秀 一 議員 ……………P11

- ①責任と責務について
- ②農業と農村の活性化を
- ③いのち救う対策を

●村 松 信 一 議員 ……………P12

- ①北上川水系流域治水プロジェクトについて
- ②継続施策の取り組みについて
- ③学校運営協議会（地域とともにある学校運営）について

●谷 上 知 子 議員 ……………P13

- ①第8次矢巾町総合計画における町の将来像の2「ありがとう」が行き交う幸せなまちについて
- ②気候変動対策と循環型社会の形成について
- ③合葬墓開設の進捗状況について

●小笠原 佳 子 議員 ……………P14

- ①フューチャー・デザインの取り組みにより、当町での政策形成はどう高められるのか
- ②要介護認定の電子申請について
- ③プレコンセプションケアの普及について
- ④誰でも通園制度について

●高 橋 恵 議員 ……………P15

- ①交通量増加に伴う交通渋滞対策は
- ②地域間格差解消の取り組みは
- ③教育環境整備への支援の考えは

●藤 原 信 悦 議員 ……………P16

- ①持続可能な農業の取り組みに向けて
- ②「労働者協同組合」による多様な働き方と地域課題への取り組みについて
- ③中学校の「部活動地域移行」について

●赤 丸 秀 雄 議員 ……………P17

- ①ふるさと納税の更なる取り組み強化について
- ②若い方が町に定着する仕組みづくりについて
- ③災害などに対する考えと対応について

●横 澤 駿 一 議員 ……………P18

- ①新規事業における財源について
- ②少子化対策について
- ③有機農地の確保について

●高 橋 敬 太 議員 ……………P19

- ①子ども・子育て支援および教育に関するニーズについて
- ②支え合いが循環する持続可能な社会を形成してゆくために

●小 川 文 子 議員 ……………P20

- ①矢巾町立学校の再編に関する基本方針について
- ②煙山保育園の運営について

●山 本 好 章 議員 ……………P21

- ①教職員の校外活動などの引率経費について

●木 村 豊 議員 ……………P22

- ①「やはば Wi-Fi」について

一般質問通告書は、矢巾町議会ホームページに掲載しています。



行政組織の責任とは 町民福祉の増進を図ること



こん 議員
しゅういち 秀一 (新誠会)

動画は
こちら



質問 責任とは、ある特定の任務や義務に対してその遂行について説明し、必要な場合にはその結果に対応する義務のことを指す。

行政組織としての責任について、どのように考えているのか。

町長 町は一義的に、地方自治法第1条の2、第1項に規定されたとおり、町民福祉の増進を図ることを基本とし、町内における行政を自主的かつ総合的に実施する役割を果たす必要があるものである。

法律改正による農業への影響は

地域コミュニティ保持などに影響

質問 半世紀ぶりに改正された「食料・農業・農村基本法」は農業の憲法ともよばれているが、この法律によって本町に及ぼす影響と、その対応についての考えは。

町長 人口減少における農業生産の方向性や農村の地域コミュニティの維持を明確化するなど、国の施策が変わるこ



収穫を待つばかりの町内田んぼ

とで本町農業にも影響がある。特にも環境負荷低減に資する対応として、減農薬や減化学肥料の推進のほか、中干し期間の延長による水田からのメタン削減などの取り組みが求められていることから、町としても改正を踏まえて国の施策に対応する。

質問 廃止した5反歩要件の効果をどのように検証したか。

農業委員会会長 5反歩未満の農地を取得した案件は、令和5年度5件、6年度7月末時点で3件となっていて、現在も複数の相談がある。

これらの案件により、担い手に対して集積することが難しい、小面積の農地の活用にもつながっている。

うつ病予防策は

関係機関と

連携、支援

質問 町民への、うつ病予防対策は。

町長 心の専門家である精神科医による心の健康相談を年5回開催し、さまざまな心の悩みや対処方法などを相談できる場を設けている。また、関係課では随時相談を聴き、関係機関と連携して支援を行っている。

町ホームページには「こころの体温計」を導入。各種相談窓口の連絡先も併せて掲載している。



むらまつ のぶかつ
村松 信一 議員
(矢巾未来の会)

動画は
こちら



ヤマユリでまつりの計画を 町夏まつりと同時開催を検討

質問 町の夏まつりが開催される頃、森山パストラルパークのヤマユリが満開となるが、この場所も含め、町のまつりとして開催してはどうか。

町長 森山パストラルパークを含めた夏まつりについては、今後にぎわい創出実行委員会で検討していく。

**継続施策の
取り組み状況は
各施策とも
引き続き努力する**

質問 既存住宅への断熱改修や、自家消費型太陽光発電設備設置などへの補助の実績は。

町長 自家消費型太陽光発電などの設備の設置は、個人13件、事業所1件である。



森山パストラルパークに咲く山ゆり

質問 事業系ごみ削減のため、事業者に対する働きかけは。

町長 令和5年4月より古紙類の搬入を規制。廃棄物検査の徹底で減量に努めている。

質問 新たに宅地開発などが行われた場合、大雨などに対応する普通河川の整備は。

町長 逆堰などへの雨水の流入増加が想定される。災害の未然防止整備を検討。

質問 防災マップで今後更新が必要な点は。

町長 大白沢川、見前川、向田川の想定最大規模降雨による浸水想定区域図の公表、土砂災害警戒区域などの新たな指定、盛岡南道路の整備に伴う各河川流域への影響を考慮することなどが必要。

質問 大型ロジスティクス企業などの進出により、交通量の増加や大型トラックの通行で橋梁が受けるダメージも大きくなっていると思うが、橋梁の損傷状態は。

町長 車両増加が原因の損傷は確認されていないが、定期点検の結果、早期補修が必要な橋梁は17橋あり、計画的に工事を進める。

学校運営に町民が参画するには

**地域の代表を通じ
意思を伝えるなど**

質問 地域とともにある学校づくりで、地域住民との目標やビジョンの共有方法は。

教育長 さまざまな意見を持ち寄り協議し決定した学校の経営方針により、目標やビジョンの共有を図っている。

質問 学校運営協議会の導入以前と比較し、行事や活動内容に変化があった点は。

教育長 多くの学校で、概ね従前の活動内容が継続されている。

ありがとうが行き交うまち

家庭・地域・行政で醸成



やがみ ともこ 議員
谷上 知子 (矢巾未来の会)

動画は
こちら



質問 第8次矢巾町総合計画における町の将来像「ありがとう」が行き交う幸せなまちについて、家庭での実践はどの取り組みでいくのか。

町長 相手方への感謝の気持ちを伝えることで、笑顔になり、温かく心が安らぐことから、家族間においても「ありがとう」の言葉や気持ちを伝えられる環境づくりが、さまざまな施策を通じて醸成されるよう努力する。

質問 地域および町全体での実践は。

町長 地域の方のサポートや協力、担当職員が地域に対する理解や情熱を積み重ね、「ありがとう」が行き交う地域コミュニティの実現を図る。

町全体では行政の姿勢として、対話を通じて信頼され、真摯に職務に向き合い、町民と一緒に汗を流し、皆様から感謝をいただきながら実現していきたい。

合葬墓の開設は

埋葬の在り方のひとつとして検討

質問 公営の格安な合葬墓の開設を望む声がある。老後と家族の安心に、利用し易い格安な合葬墓開設は。

町長 他自治体が整備した合葬墓の視察などにより情報収集を行ってきた。規模や整備手法は自治体ごとに異なるが、火葬場や公葬地と一体的に整備されているケースが多い。

今後は第8次矢巾町総合計画前期基本計画において、家族形態やライフスタイルの変化に対応した埋葬の在り方、火葬場整備についての在り方を検討する。合葬墓も埋葬の在り方のひとつとして検討。



未利用バイオマスでキュウリ栽培をする昆さん（高田2区）

温暖化対策と循環型社会形成

地球温暖化対策
実行計画を定める

質問 温暖化対策と循環型社会形成の周知啓発は。

町長 小学生向けの環境教育、町民対象の青空教室、木質バイオマス発電施設などの具体的な事業で周知を図る。

質問 バイオトイレの普及は。

町長 排泄物処理後の活用が限定的なものと考え、積極的な普及は考えていない。

質問 温暖化対策と循環型社会への今後の展望は。

町長 策定を進めている地球温暖化対策実行計画で、町民および事業者を対象とした行動指針を定める。

フューチャー・デザインは 当町の政策立案に反映させる



町職員によるワークショップ



おがさわら よしこ
小笠原 佳子 議員
(公明党)

動画は
こちら



一般質問 町政を問う

質問 町長が掲げた「対話を通じた信頼される町政運営」は住民参加により進められる。住民参加の際にフューチャー・デザインに取り組みこの意義をどう捉えているか。

町長 町民が目先のことだけではなく将来世代の視点に立ち、まちづくりの当事者として主体的に政策立案に関わることにすると認識している。

質問 フューチャー・デザインにより新しいアイデアが生まれ、イノベーションの促進が進めば町内企業のビジネスチャンスが広がるのでは。

町長 様々な分野でフューチャー・デザインの取り組みが行われていることを、起業を目指す方々に農商工共創協議会の事業において紹介し、NPO法人なども連携する。

プレコンセプションケア普及を 前向きに検討

質問 プレコンセプションケアは、将来の妊娠を見据えて自分の体の状態を知り、日々の生活や健康をより良いものにする取り組みである。

町ホームページに掲載し、普及啓発する考えは。

町長 前向きに検討していく。

質問 思春期への保健事業として今年度の予定は。

教育長 中学校で、岩手医科大学の助産師を講師に「いのちの大切さ」をテーマとした講演を予定。

誰でも通園制度の実施は

令和7年度試行
8年度実施

質問 「誰でも通園制度」は、親の就労の有無にかかわらず保育所などを時間単位で柔軟に利用できる制度である。

親がリフレッシュできることで育児負担の軽減が図られたり、保育士から助言を受けたりすることで親の孤立を防ぐ。実施内容について伺う。

町長 令和7年度に試行的事業を導入。実施結果を検証して令和8年度から実施する。

生後6ヶ月から満3歳未満の子が対象で、1人あたり月10時間を上限とする。

質問 町子育て応援在宅育児支援金の支給との関係は。

町長 現行制度においては支給対象として取り扱えるものと見込んでいる。

旧矢巾中学校跡地の活用は 事業検討含め可能性を調査



たかはし めぐみ
高橋 恵 議員
(町民の会)

動画は
こちら



質問 矢巾中学校跡地について地域連携型PPP（官民連携）推進事業の調査・検討の結果、活用の方向性は。

町長 超大型テナントなど活用した施設整備を前提に、官民共同事業体を立ち上げる方式（LABV方式）について実施の可能性を検討。事業リスクなどから「早期に事業着手することは難しい」との評価があり、現在、同方式以外の事業検討を含め可能性を調査。

質問 近隣公園や無料でボール遊びや水遊びができる広場などを整備する予定はないか。
町長 既存町有地などを活用して遊び場を整備する手法やその実現性は、引き続き検討を行い早期に提案したい。

質問 「誰一人取り残さない社会を目指すまちづくり」とあるが、生活利便施設、交通便利性が偏っている現状をどう考えているか。

町長 商業施設や医療施設などの生活利便施設は、他市町村と比較しても十分な整備がなされている。また、交通の利便性も、東西で格差があるとは捉えていない。

質問 地域カルテについて、今後の具体的な活用方法は。

町長 将来的に単独コミュニティのみでは解決できないような課題を、小学校区単位の地域コミュニティで取り組んでいく方向を打ち出したもので、※地域カルテに記載した情報や資源を地域間で情報共有し、地域を越えた活動又は地域間連携活動に活用する。

交通量増加に伴う渋滞対策は道路網の各種調査を実施



和味地区での防災訓練、持続可能なコミュニティ作りを目指す

質問 児童生徒が通学する生活道路の交通安全対策は。

町長 グリーンベルトや防護柵の設置などを進める。

個室トイレに生理用品配置を養護教諭と対話し配布している

質問 学校トイレへの生理用品配置について、急に必要となった場合など使用するため個室に配置する予定はないか。

教育長 養護教諭が児童生徒との対話を通し、適切な保健指導につなげることができると考えて、保健室で配布している。また、安全面や衛生面に配慮し、個室トイレへの配置は現段階では考えていない。

持続可能な農業への取り組み

法人経営体の育成と 遊休農地の活用を



ふじわら しんえつ 議員
藤原 信悦 (町民の会)

動画は
こちら



一般質問 町政を問う

質問 農林業センサスによれば令和2年と平成17年対比で農家戸数が減少し、経営体数でも個人・団体とも減少している中で、法人経営体のみ増加している。
今後、この経営体の育成に力点を置く考えか。

町長 高齢化と後継者不足に対応するために集落営農組織を推進し、営業基盤強化のため法人経営体の育成に力を注いでいく。

質問 農地として活用されていない1号遊休農地や再生可能な荒廃農地、並びに、相続放棄地の活用は。

農業委員会会長 遊休農地については、農地パトロールで得られた情報を所有者の意向をもとに、再開に向けた指導や

地域の担い手への賃借などにより活用に取り組んでいる。
また、相続放棄地については、相続財産清算人に対し同様の取り組みをしている。

地域課題解決へ

労働者協同組合と連携も

質問 令和4年10月から施行された「労働者協同組合法」により、本年8月現在、全国で101の協同組合が設立され、高齢者介護、子育て支援などの地域課題に取り組んでいる。

3人以上が組合員として出資し、ともに事業について話し合い、ともに事業に従事する非営利団体であり、県内で



家族協力による稲刈り作業

の設立は未だないが、このような団体と連携し、地域の課題解決に取り組む考えは。

町長 地域の課題解決に向けた事業を行う方の選択肢を広げ、活動促進につながるものと捉えている。労働者協同組合の設立について、町に協議などがあった際は、実現に向け取り組む。

部活動地域移行

県の協議会の

議論を経て

質問 休日の部活動における学校と指導にあたる地域団体や民間事業者との関係は。

教育長 県では、本年7月に「岩手県における地域クラブ活動の在り方に関する協議会」が開催された。

休日の地域クラブ活動へ移行した他地区の例では、休日の地域クラブ活動は、学校の管理下外での実施となる。

協議会の議論を経て、できるだけ速やかに移行できる学校部活動から進めたい。



あかまる ひでお 議員
赤丸 秀雄
(新誠会)

動画は
こちら



ふるさと納税取り組み強化を 返礼品を工夫し増加に努める

質問 ふるさと納税の寄付額が減少しているが対応策は。
町長 昨年10月に地場産品基準が厳格化となり、当町の返礼品種類が6割減少した。そのことを踏まえ、検討している。

質問 他自治体の中には少額寄付に的を絞る、また高額寄付に付加価値を付ける工夫をして寄付額を増やしている。当町もイベントに招待して「おもてなし」を体験するなどアイデア創出の考えは。
町長 現在返礼品の掘り起こしや高額返礼対応を含めた内容確認を行っており、提案を含め再検討に努めたい。

若者定着に 町のPR強化を 機会を捉え 今後でも取り組む

質問 当町の良さ「緑と農地、交通・流通の利便性、県庁所

在地の隣接地、通勤範囲に多くの企業が立地等」を積極的にPRすべきと考えるが。
町長 就業を希望する若い方に居住環境の良さ、通勤範囲内に多くの企業が立地など、本町の魅力を効果的に発信することは重要かつ必要であり、今後でもアピールに努める。



農地と市街地が隣り合うまち

農商工共創セン ターの運用を 協議会を 5月に設立した

質問 町民が大いに期待する農商工共創センターの運用を加速化し、町の5年10年先の産業などの道筋を図る必要性を強く感じるが考えは。
町長 それぞれの部会ごとに検討を重ね、町の近未来のあるべき姿、将来像を描くように努めていく。

町指定の避難所 数と収容人数は 53か所、 4,610名想定

質問 全国で災害が多く、避難所の確保が課題である。本町の避難所数と収容人数は、どう想定しているか。
町長 町指定の避難所は53か所、4,610名を想定する。

少子化対策の方向性は 若者への支援を検討



よこさわ しゅんいち
横澤 駿一 議員
(強くやさしい矢巾)

動画は
こちら



一般質問 町政を問う

質問 少子化対策の現状は。
町長 町では母子保健事業と子育て支援を充実させている。また、婚活事業を行い、出会いの場の創出を図っている。

質問 結婚の前段階で支援が必要だと考える。まずは一人ひとりの生活の質を高めながらキャリアを重ねられる環境づくりが必要では。

町長 個人の生活の質を高めることは結婚を考える上で重要な視点。町としても施策を考える必要性を感じている。

質問 若者にとっては、勤めながら、起業スキルやビジネススキルなどが身につけられる場が必要では。

町長 ビジネススキルについては、町企業連絡会や町商工

会においてセミナーや研修会などを実施している。今年度は農商工共創協議会事業において「未来共創クリエイティブ・キャンパス事業」として、専門家による起業や事業拡大の支援に繋がる研修などの実施を予定している。

町おこし事業における財源は

**産官学金
連携を強める**

質問 新規に町おこし事業を立ち上げる際、総務省が出している産官学金連携で行う「ローカル100000プロジェクト」が有効的だと考えるが、これまでこの事業を申請するような動きはあったか。

町長 検討を行った経緯はあるが、金融機関などとの調整が整わず、実現しなかった。各種助成制度および民間資金の活用などを通じ、財源確保に努める。

**有機農地の
確保に向けて**

**販売まで含めて
取り組む**

質問 地域計画の中に、将来有機農地をどこに、どのように増やしていくのかという部分を入れていくことが重要だと考えるが、現状は。

町長 令和6年7月に開催した認定農業者の農業懇談会では、それをメインテーマとして研修を行った。

まずは、栽培方式は可能な限り環境負荷軽減に配慮した作物であるということを消費者にアピールし、高価格での販売に努めることで、有機農地の取り組みを拡大したいと考えている。



「aiaiひろば」さわやかハウスで

児童館での昼食提供は 冬休みに試行実施を検討



たかはし けいた 議員
高橋 敬太
(子育ても老後も)

動画は
こちら



質問 絶えず変化する子育てニーズに対応するためには、調査および検証が大切であるが、今後の方針や方向性は。

町長 本年1月の調査により、ニーズや悩みに変化が生じていることが分かった。新たに「子どもの居場所づくりの推進」を検討していく。

質問 児童館が狭い、暑い・寒い、職員を増やしてほしいという声をいまだに聴くが。

町長 事業者と引き続き協議していく。

質問 ニーズ調査の結果、夏休みなど長期休暇中の児童館での昼食提供のニーズは高いものであったが、実施予定は。

町長 冬休みに試行実施を検討しており、事業者を調査中。



支援の輪を広げ、温かなまちづくりを
(ここかむ食堂の活動風景)

質問 広い公園が欲しいという意見は多い。西部の煙山ひまわりパーク周辺を一体的に整備し、活性化を図っては。

町長 大規模公園の整備は困難な状況。要望は多く寄せられているので、引き続き検討し、早期に具体的なビジョンを示したい。

質問 特別支援教育の質の向上と学校によって対応に差が

ないように均質化が必要では。

町長 各校に特別支援教育のコーディネーターを配置し、合同研修会により情報交換するなど取り組んでいる。

質問 金融教育を求める意見もある。国ではJ-FLEEC(金融経済教育推進機構)を設立し、講師の無料派遣など体制を整えているが、本町で本制度の利用の可能性は。

教育長 学習指導要領でも金融教育に関わる記述が拡充されている。校長会議で情報提供し、まずは指導計画の作成の支援を優先して取り組む。

慈善事業への 支援は

総合的に勘案し支援

質問 慈善事業を行いたいという熱意ある方がいる一方で、開催場所の確保が困難であるなど課題も多い。町内の各事業所に空きスペースがないかなど、利用可能な資源がないか調査を行ってはどうか。

町内で多くの慈善活動ができるように温かな支援の輪が必要では。

町長 町内ではここかむ食堂などが開催されているが、会場の確保が難しい状況である。商工会や各事業所、農政部門、教育部門など各所と連携し、慈善事業の新規起業への支援体制の強化や社会資源の創出、地域活性化に資する団体設立に向けた支援に努める。

町立学校の再編・基本方針は 小中一貫教育の推進を基軸に進める



おがわ ふみこ 議員
小川 文子 (日本共産党矢巾町議団)

動画は
こちら



一般質問 町政を問う

質問 教育委員会は「矢巾町立学校の再編に関する基本方針」を策定した。この基本方針では、小学校の児童数の偏りを解消するため中学校区を基本とすること、学校施設の老朽化から「大規模改修」「建て替え（移転）」または「統廃合」を検討すること、学校規模・学級人数、通学距離・時間を検討し、学校・保護者・地域の皆様の意見を聴取し「学校再編整備計画（案）」を示すとしている。

小中一貫教育を推進することについては十分議論することが重要と思うが、今後どう進めていくか。

教育長 議論することは大切であり、現在たたき台となる素案の策定に着手している。



小学校は地域の文化、子どもは地域の宝

本年度内を目途としているが、多面的に分析する必要がある、時期が延びる可能性がある。

質問 小学校の望ましい学級数は2・3学級としているが、1学級でもすばらしい教育を实践されているのでは。

教育長 学級数などの規模に関わらず、どの学校も教育目標の実現に向かい成果を上げていると認識している。

質問 スクールバスや公共交通を利用した場合の通学時間を1時間以内と定めているが、子どもたちの負担となら

ないよう短縮できないか。

教育長 現在の最大乗車時間は50分。より適切な通学時間に近づけるよう研究する。

質問 小学校は地域の文化、子どもは地域の宝である。

地域とのかかわりは重要であると考え、再編とのバランスをどう図っていくか。

教育長 「小中一貫教育」により推進することを基軸とし、中学校区を基本とした素案を策定する中で検討する。

煙山保育園に 主食の提供を

今は考えていない

質問 主食の提供は、保護者の負担軽減や町産米の消費拡大につながるものとなるのではないか。

町長 主食費は保護者の負担となり、施設側は新たな人員の配置が必要となる。保護者からの要望なども出されていないことから、現時点では実施は考えていない。



やまもと よしあき
山本 好章 議員
(新誠会)

動画は
こちら



修学旅行等の引率経費は 現状では県が定めで支給

質問 学校運営の中の学校行事には、校外学習や修学旅行などにも時間をかけて計画実行されている。

引率旅費は県費により賄われているが、旅費としての支給のため、交通費や宿泊料についてのみである。校外学習において、施設への入場料や入館料、部活引率の際の高速料や駐車料などは支給されないため、引率教員の自己負担となっている。

修学旅行では観劇などが含まれるとかなり多額の自己負担となる。

本来であれば教育活動の一環として実施しているものであり、公費負担がなされることとが適当だと考える。

学校では教育委員会に校外活動の届や宿泊を伴う活動の承認申請を提出しているの
で、経費については把握できる状態のはずだが、自己負担となることに関する見解は。

教育長 学校の県費負担教職員
の給料、諸手当、旅費などは岩手県で負担している。これは、市町村立学校職員給与負担法によるもので、各都道府県は条例などにより給料などの額を定め、この定めによ

って支給している。

また、修学旅行などの校外における教育活動にかかる旅費などの経費は「校外における教育活動」の申請により把握しているが、教職員に支給される旅費などについては、岩手県がその定めにより支給しているものと認識している。
このことは条例などに則った支給であり、町が見解を示す立場にはない。

質問 他県では、自治体によっては補助が行われているところもある。自己負担をできる
だけ少なくするよう何らかの補助などは考えられないか。

教育長 一義的には、岩手県において議論するものと認識している。

なお、他県の市町村においては、補助金交付要綱などにより補助をしている例は確認しているが、本町のみならず、県内他の市町村にも当てはまる内容であるため、現段階では本町独自で教職員に対して校外活動などに係る補助を実施する考えはない。



修学旅行での国会議事堂内見学

「やはばWi-Fi」 接続状況は 現在、通信障害はない



やはばWi-Fiのアンテナ



きむら ゆたか
木村 豊 議員
(日本共産党矢巾町議団)

動画は
こちら



一般質問 町政を問う

質問 インターネット接続サービスなどを通じた高速無線通信網「やはばWi-Fi」は、令和6年1月に、三堤住宅、南矢幅公民館が故障基地局になっていたが、現時点での接続状況はどうか。
また、修理費用の負担はどのようになされたのか。

町長 令和6年8月20日時点で、町内に66基ある全ての基地局での故障による通信障害は発生しておらず、良好な通信環境である。
修理費用は、町では管理運営等業務委託契約の範囲内で負担している。

質問 事業を受け継ぐ新たな会社が見つかったと聞いているが、現在の状況と今後の見通しは。
町長 ウェルソックが事業継続困難となったことに伴い、事業継続可能な事業者を探していたところ、事業継承できる事業者から申し出があり、現在その事業者と業務委託契約を締結し対応している。

質問 連携協定を締結した民間企業「ウェルソック」は、個人情報への入力ができるが申し込みをしても対応できず、実際の受付業務ができない状態である。
連携協定書には、状況把握にかかる情報共有項目はあったのか。

町長 「やはばWi-Fi」は、ウェルソックの収益事業として実施していたため、町は加入者の情報を取得していませんでしたが、事業継続が難しくなったことから、同社より加入者名簿の提供を受け、加入者に対しサポートを行ってきた。

連携協定書に双方の情報共有にかかる具体的な記載はないが、業務委託契約において、

利用料金の設定や保守費用の想定、甘さなどが経営困難に至った要因でもある。新たな事業者には適正な利用料金などを設定のうえ、事業継続いただけるよう引き続き働き掛けを行なう。



おおつき まりこ
大槻 万里子 さん 写真左
(南矢幅6区)

初めて友人と共に、議会を傍聴させていただきました。議員の方々が矢巾町の将来を考えた一般質問と、町長の誠意ある答弁も解りやすかったです。

全国的にも少子化問題、農村の後継者の問題、災害対策、新規事業における財源確保など町として数々の支援対策・推進をしていることを初めて知りました。

今年も豪雨災害被害がでており、矢巾町も例外ではありません。

私は、岩崎川の草刈りをして欲しいと思っていましたが一級河川のため、町だけでは行うことが難しいことを知りました。県へ強く要求することも議員の方々のお仕事だと思えますので、宜しくお願い致します。

矢巾町に住みたいと心から思える環境対策を考えていただけたら嬉しいです。より多くの町民にも傍聴して頂きたいためにも、開催の日になや、時間の検討も必要だと思います。

特別委員会設置



特別委員会の概要

議長を除く17名で構成される「議会のあり方調査検討特別委員会」は9月20日に発議され、設置されました。

この特別委員会では、町民の信頼と付託に応える議会を目指して、あらゆる世代が議員として活躍できる環境を整え、さらなる議会の活性化に向け、調査・検討を行ってまいります。

役員構成

〔委員長〕		谷上知子 議員
〔副委員長〕		昆秀一 議員
〔幹事〕		横澤駿一 議員
ササキマサヒロ 議員	藤原信悦 議員	小笠原佳子 議員

調査・検討内容

特別委員会では、10月20日（日）に行われた矢巾町秋まつり会場にて、議会に関するアンケート調査を実施しました。今後、町民アンケートなどで集めた町民の意見を反映し、活動内容や活動方法（分科会で調査・検討していくかどうか）などを決め、慎重に進めてまいります。

矢巾町議会の 活性化に向けて 取り組みます



今後の進め方を検討する幹事会メンバー



藤原健次郎 生家前のパネル



矢巾町宮澤賢治を語る会 事務幹事

たか はら ひろ あき
高原 弘明 さん (白 沢)

夏至の日の「南昌山」に沈む夕日

「日輪祭」とは、夏至の日の夕暮れに南昌山の頂上に沈む夕日を矢巾町白沢の南田家から観察する行事で「矢巾町宮澤賢治を語る会」が行っています。この風景は宮澤賢治が描いた「日輪と山」の絵にも一致し、童話作品「銀河鉄道の夜」との関連も深まっています。

南田家は、賢治が盛岡中学時代に寄宿舎で同室となり親しくなった、藤原健次郎の生家です。賢治が健次郎の家に泊まりに来て、南昌山をたびたび訪れたりしていたことが故・松本隆さんの賢治研究により解明されてきました。

「矢巾町宮澤賢治を語る会」は24年ほど前の平成12年に故・松本隆さんが主宰し発足した会で、宮澤賢治を愛好した作品はもとより賢治の人間性などを含めたすべての賢治の世界を語り合い研究を深めることを目的として、隔月（主に奇数月）の第3木曜日に、

矢巾町公民館で定例会を開催しています。会員の学習発表などにより会員相互の親睦も図りながら活動しています。今から8年ほど前、賢治の親友、健次郎の生家である南田家に、白沢住民自治会として周知パネルの設置機運が高まったところ、コミュニティ役員の一人であった私は「日輪祭」の手伝いをしていくうちに、いつの間にか、この会の会員になっていました。

あ と が き

暑さの夏も過ぎ、しのぎやすい季節となりました。お米のでも良く、収穫の喜びを感じる今日この頃です。スタッフも2年目半ばとなり、編集会議でも積極的な発言や提案が出され、頼もしく感じております。乞うご期待！

委員長 藤原 信悦

発行・編集責任者 議長 廣田 清実

編集委員 委員長 藤原 信悦
副委員長 小笠原佳子
委員 高橋 恵
高橋 敬太
ササキ マサヒロ



表紙によせて